

# 校外委員会だより

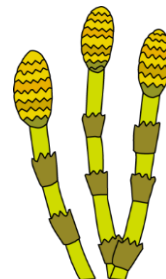
平成 30 年 3 月 9 日

横浜市西が岡小学校

PTA 会長 石川 賢治

校外委員長 尊田 典子

今年度も残りわずかになりました。保護者のみなさまには 1 年間校外委員活動にご理解とご協力をいただきありがとうございました。大きな事故もなく安全に過ごせたことを嬉しく思います。もうすぐ春休みを迎えますが、子どもたちはこれまで以上に活発に行動する機会が増えます。この機会に自分自身の身を守ることにについて親子で再確認していただけると幸いです。



## ■危険を察知する、または回避する第六感を鍛える

「信号があるから」、「横断歩道にはおとなの見守りがいるから」と、子どもたちは知らず知らずのうちに、自分自身で左右をよく見るなどの安全確認をおこなっていることも考えられます。

春休みは特に自転車に乗る機会も増えるかと思えます。

夕方の交差点は特に事故が起きやすい場所です。「一時停止」や「安全確認」を今一度、子どもたちに呼び掛けてください。

## 旗当番の心得

「危険な事はどういうことなのか」、「注意すべき点は何か」、「道路上ではどんな危険が予測されるのか」の情報を子どもに伝えていくことが、子どもたちの安全につながります。



### ○児童の見守りをする側の注意点【保護者】

- 1 車道には絶対出ない
- 2 旗を振る時は大きな動作で
- 3 車から目を離さない、車に背を向けない
- 4 信号の点滅が始まったら児童を渡らせない
- 5 車が完全に止まってから児童を渡らせる

### ○児童に指導すること

- 1 左右を確認させる
- 2 手をあげさせる

児童はおとなが側にいること、指示したことを安全であると思いがちです。おとなが指示する前に児童に確認させましょう。また、車や歩行者には盲点があります。青信号や標識は安全を保障するものではないことを認識することが大切です。

## ～ 1 年間の校外委員会活動を通して～

校外委員の活動に携わり、子どもたちの安全は保護者や地域の大勢の方の協力により守られていることを改めて痛感しました。これからも子どもたちが安心して登下校できる環境を守っていけるよう、変わらぬご協力をよろしく願いいたします。

裏面には、「♪交通安全について考えようアンケート」の集計結果も載せてありますので、今一度ご家族でご覧ください。

校外委員一同